

新製品

キャリアガス切換え装置 CGS-2050E

熱分解ガスクロマトグラフィー(Py-GC)では、通常ヘリウム(He)などの不活性ガスがキャリアガスとして用いられています。一方、空気など酸素雰囲気下での熱分解により発生する有害成分の分析は、環境汚染対策の観点から重要となります。また、触媒を用いた気相接触反応の基礎研究でも各種反応ガスが利用されています。新たに開発したキャリアガス切換え装置(CGS-2050E)は、従来モデル(CGS-1050Ex)の基本性能を踏襲しつつ、さらに操作性を向上させた改良モデルとなっております。

CGS-2050Eの特長

1. 化学反応試験や熱酸化試験に有効

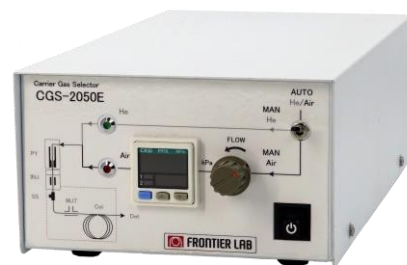
任意のキャリアガスと加熱条件下における化学反応試験や酸素雰囲気下における熱酸化試験を行うことができます。さらに、発生ガス分析において選択的試料導入装置を用いることにより、各種キャリアガスを用いた任意加熱温度区間の発生ガスを、GCカラムへ選択的に導入し、分離分析を効果的に行うことができます。

2. 瞬時のキャリアガスの切り換えが可能

最小の死空間(0.5 mL以下)の流路構成により、瞬時にキャリアガスの切り換えができます。

3. 自動制御が可能

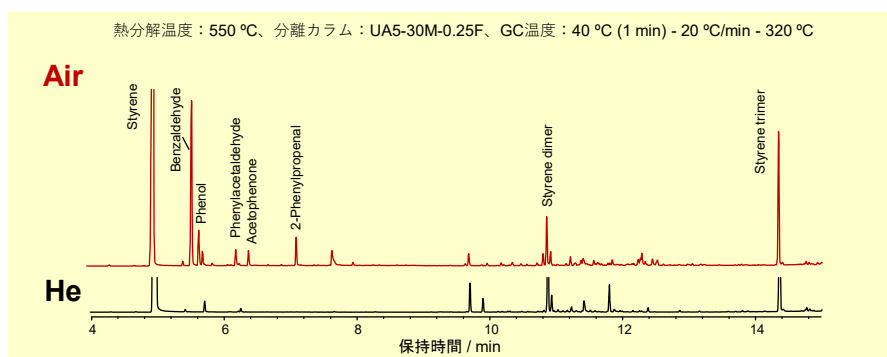
マルチショット・パイロライザー(EGA/PY-3030D)やオートショット・サンブラー、マイクロジェット・クライオトラップ、選択的試料導入装置と連動して動作させることができます。



キャリアガス切換え装置
CGS-2050E

応用分析例

Heと空気雰囲気下における、ポリスチレン(PS)のPy-GC/MS測定結果を示します。空気雰囲気下では、BenzaldehydeやPhenolなど各種の酸化物が観測されています。



仕様

使用可能なキャリアガス	He, N ₂ , Air, O ₂ 等のうち2種類を選択(1つはHeやN ₂ などの不活性ガスを選択)
電源	100~240 VAC、40VA(ワイド電源対応)
適用パイロライザー	マルチショット・パイロライザー(EGA/PY-3030D)
適用GC機種	Agilent 8890 / 8860GC、PerkinElmer Clarus 690、SCION 456、Shimadzu GC-2030 / 2010、Thermo Fisher TRACE 1610 / 1600 / 1310 / 1300 GC 上記以外の装置に関しては、弊社販売代理店もしくは弊社までお問い合わせください。
キャリアガスの切換え	電磁弁による流路切換え、MANUALモード: 手動による切換え AUTOモード: マルチショット・パイロライザーソフトウェアでの自動制御